



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2022年6月9日 No.479

2022年度夏季手当 追加支給を求めるシリーズ③

一部社員への投資よりも 全社員への投資が先だ！

私たち東日本ユニオンは夏季手当交渉において「資金調達をしてまでも3.0ヶ月分支給する必要がある」「成績率（増額）を運用するのであれば満額回答が条件だ」と主張してきました。

社員の人材育成や成績率の運用を否定しませんが、一部の社員だけに「投資」をするのではなく、その原資をすべての社員の夏季手当にまわすべきです。

人件費の用途が夏季手当を抑えて 一部社員の人材育成に注ぎ込まれている！？

- ◆一部の社員を対象に繰り広げられている会社幹部との飲食を伴う会合や研修
- ◆一部の社員には夏季手当で「成績率（増額）」を行う など

夏季手当を「2.3ヶ月」に抑えておきながら 人件費の用途に納得できますか！？

- ◆本当に必要なのか分からない超過勤務の実態
- ◆会社施策によって生み出された遠距離通勤や単身赴任
- ◆要員を減らしておきながら休日出勤の増加
- ◆「多様な経験」の名のもとにリセットされる経験や技術 など

**東日本ユニオンは夏季手当の追加支給を求めています！
加入して一緒に声をあげよう！**